

## 2021年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月12日

上場会社名 ビリングシステム株式会社  
 コード番号 3623 URL <http://www.billingsystem.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江田 敏彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 長谷川 毅

TEL 03-5501-4400

四半期報告書提出予定日 2021年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	1,608	16.6	191	115.4	192	114.5	127	129.6
2020年12月期第2四半期	1,379	26.0	88	56.5	89	60.0	55	134.0

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 133百万円 (119.5%) 2020年12月期第2四半期 60百万円 (132.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	19.98	
2020年12月期第2四半期	8.70	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	19,836	2,094	10.1
2020年12月期	9,997	2,016	19.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 2,007百万円 2020年12月期 1,935百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		8.75	8.75
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)				8.75	8.75

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,287	13.9	266	16.8	266	14.8	179	26.0	28.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	6,564,400 株	2020年12月期	6,564,400 株
期末自己株式数	2021年12月期2Q	190,082 株	2020年12月期	190,082 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	6,374,318 株	2020年12月期2Q	6,374,318 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・2021年8月31日（火）・・・機関投資家向け決算説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業においては、海外経済の回復を背景に輸出や設備投資が堅調に推移しているものの、非製造業においては、長期化する新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、緊急事態宣言の再発令やまん延防止等重点措置を受けた自粛等の影響で、企業収益や景況感の悪化、個人消費の減退など厳しい状況が続いております。感染拡大防止に向けたワクチン接種が普及し始めているものの、変異株等による感染の再拡大により、感染状況も一進一退を繰り返しており依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する決済市場におきましても、東京オリンピックの開催が決定したものの、海外からの観客は受け入れ中止となり、インバウンド需要の回復は引き続き見込めない状況が続いておりますが、一方で、越境EC市場が拡大中であること、また、キャッシュレス決済の利用が増加傾向にあることなどから、スマートフォンを利用した非対面決済の需要は、引き続き拡大が見込めるものと考えております。

このような状況の下、当社グループはクイック入金サービスや公共料金支払い代行サービスなど既存サービスの着実な運営、またスマホ決済アプリPayB、自動販売機向け電子マネー対応シンクライアント型決済端末の販売など新サービスの開発と普及に取り組んでまいりました。

スマホ決済サービスPayBは、ゆうちょ銀行や各メガバンクを始めとして、本年6月末時点で44行の金融機関において利用可能となっております。本年3月には、りそなグループの株式会社りそな銀行・株式会社埼玉りそな銀行・株式会社関西みらい銀行の3行と業務提携を行い、4月以降も利用可能な提携金融機関の拡大を進めております。また、SBIホールディングス株式会社の子会社で、次世代金融インフラを提供するマネータップ株式会社と業務提携を行い、同社が提供する「Money Tap」アプリにPayBを組み込み、税金や公共料金などの支払いを、コンビニ払込票のバーコードを読み取ることで、預金口座からリアルタイムで支払うことが可能となるサービスの提供を開始しております。その他にも、後払い決済サービスを提供している株式会社キャッチボールと業務提携を行い、同社が提供する「後払い.com」の支払い方法にPayBを導入するなど、利用可能取引先の拡大も進めております。

スマホマルチ決済アプリに関しては、その中のWeChatやAlipayについては、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、インバウンド需要の回復は当面見込めない状況ですが、アフターコロナを見据え、国内外の各種決済アプリへの対応に向けた準備を進めております。

また、越境EC対応としては、昨年から提供を始めたWeChatミニプログラムを株式会社三越伊勢丹ホールディングスの銀座三越へ、また、当期から提供を始めたAlipayミニアプリを大手ドラッグストアのツルハへ、それぞれサービスの提供を開始しております。

自動販売機向け電子マネー対応シンクライアント型決済端末の販売については、飲料自販機市場での販売と共に、駐車場やランドリー等への新機能の開発や運営ソリューションの構築を進めております。新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、販売計画の一部に遅延が生じておりますが、一方で、受託開発案件の売上を計上したことなどから、現時点では、概ね期初の事業計画どおり進捗しております。

既存サービスにつきましては、クイック入金サービスは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、株式市場や為替市場の変動が大きかったこと、また証券会社の口座開設数が増加していることなどから、第2四半期も取扱件数が堅調に推移しました。

その他の既存サービスについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は受けておりません。

以上のことから売上高全体では、概ね計画通りとなりましたが、利益率の高いクイック入金サービスが計画を上回ったことなどから、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は、当初の予想を上回る結果となっております。

なお、前連結会計年度に、本社移転中止に伴う賃貸借契約解約損を概算計上しましたが、当第2四半期連結累計期間において金額が確定したため、賃貸借契約解約損戻入益を特別利益に計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,608,976千円（前年同四半期売上高1,379,500千円）、営業利益191,520千円（前年同四半期営業利益88,927千円）、経常利益192,163千円（前年同四半期経常利益89,567千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益127,353千円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純利益55,469千円）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は19,836,138千円（前連結会計年度末9,997,105千円）となり9,839,032千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金9,970,717千円の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は17,741,864千円（前連結会計年度末7,980,164千円）となり9,761,700千円増加いたしました。その主な要因は、預り金9,839,525千円の増加によるものであります。

なお、総資産及び負債が前連結会計年度末より大幅に増加しておりますが、その主な要因は、スマホ決済サービスPayBの取扱件数が急拡大したことにより、収納金が増加し、現金及び預金と預り金が両建てで、増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は2,094,273千円（前連結会計年度末2,016,940千円）となり77,332千円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益127,353千円を計上したこと及び剰余金の配当55,775千円などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結結果計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して9,970,717千円増加し、残高は18,613,509千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は10,065,254千円（前第2四半期連結累計期間は2,669,183千円の収入）となりました。これは主に、預り金の増加額9,839,525千円、税金等調整前四半期純利益196,163千円などによる資金増加要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は39,574千円（前第2四半期連結累計期間は3,692千円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出14,320千円、無形固定資産の取得による支出13,942千円、敷金及び保証金の差入による支出11,992千円などの資金減少要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は55,463千円（前第2四半期連結累計期間は70,196千円の収入）となりました。これは配当金の支払額55,463千円の資金減少要因によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回予想（2021年2月10日発表）からの変更はありません。新型コロナウイルスによる業績への影響につきましては（1）経営成績に関する説明の記載をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,792,791	18,763,509
売掛金	376,782	326,198
商品	65,318	54,581
仕掛品	1,695	3,074
その他	516,969	426,422
流動資産合計	9,753,557	19,573,785
固定資産		
有形固定資産	23,193	33,604
無形固定資産	106,482	120,129
投資その他の資産	113,871	108,619
固定資産合計	243,548	262,352
資産合計	9,997,105	19,836,138
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	113,044	143,388
未払法人税等	27,877	54,712
預り金	7,611,870	17,451,396
賞与引当金	—	8,403
その他	220,762	77,354
流動負債合計	7,973,555	17,735,255
固定負債		
その他	6,608	6,608
固定負債合計	6,608	6,608
負債合計	7,980,164	17,741,864
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,237,988	1,237,988
資本剰余金	83,900	83,900
利益剰余金	662,530	734,109
自己株式	△48,894	△48,894
株主資本合計	1,935,525	2,007,103
非支配株主持分	81,415	87,170
純資産合計	2,016,940	2,094,273
負債純資産合計	9,997,105	19,836,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,379,500	1,608,976
売上原価	975,223	1,072,799
売上総利益	404,276	536,176
販売費及び一般管理費	315,349	344,656
営業利益	88,927	191,520
営業外収益		
受取利息	44	35
受取手数料	120	120
為替差益	-	501
未払配当金除斥益	617	202
その他	245	25
営業外収益合計	1,028	884
営業外費用		
支払利息	348	241
為替差損	40	-
営業外費用合計	388	241
経常利益	89,567	192,163
特別利益		
賃貸借契約解約損戻入益	-	4,000
特別利益合計	-	4,000
税金等調整前四半期純利益	89,567	196,163
法人税、住民税及び事業税	27,981	47,202
法人税等調整額	937	15,853
法人税等合計	28,919	63,055
四半期純利益	60,648	133,107
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,179	5,754
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,469	127,353

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	60,648	133,107
四半期包括利益	60,648	133,107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,469	127,353
非支配株主に係る四半期包括利益	5,179	5,754

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	89,567	196,163
減価償却費	18,152	22,976
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17	-
受取利息	△48	△40
支払利息	348	241
賃貸借契約解約損戻入益	-	△4,000
売上債権の増減額(△は増加)	△41,930	50,584
たな卸資産の増減額(△は増加)	△119,274	9,357
立替金の増減額(△は増加)	△143,919	△5,150
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,660	12,078
預り金の増減額(△は減少)	2,968,056	9,839,525
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,472	8,403
その他	△110,265	△43,380
小計	2,649,536	10,086,760
利息及び配当金の受取額	48	40
利息の支払額	△342	△241
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	19,940	△21,304
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,669,183	10,065,254
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△150,000	△150,000
定期預金の払戻による収入	150,000	150,000
有形固定資産の取得による支出	△3,872	△14,320
無形固定資産の取得による支出	-	△13,942
敷金及び保証金の差入による支出	-	△11,992
関係会社貸付金の回収による収入	180	680
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,692	△39,574
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△15,000	-
配当金の支払額	△55,196	△55,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,196	△55,463
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	501
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,595,283	9,970,717
現金及び現金同等物の期首残高	6,854,316	8,642,791
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,449,600	18,613,509

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

「決済支援事業」以外の事業の重要性が乏しいため、記載を省略しております。